

～JA福井県産大豆の単収アップを目指して！～

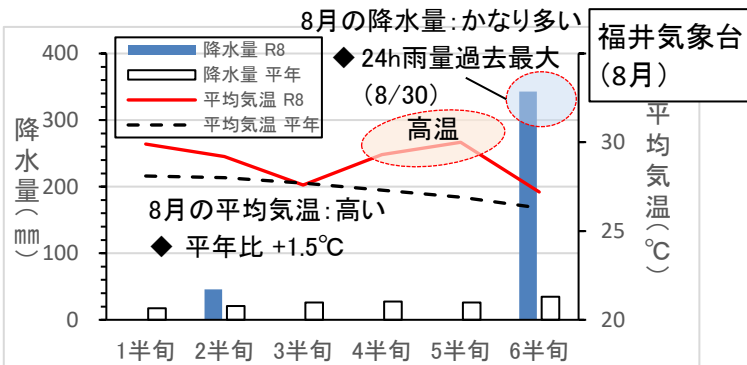
FUKUI DAIZU 情報

福大豆

No.5

8月30日にかけて嶺北地域を中心に大雨となり、一部の圃場で冠水等の被害が発生しました。停滞水は大豆の収量等に大きな影響を与えますので、可能な限り速やかに圃場の排水に努めましょう。また、今後も暑い日が続きますので、熱中症に注意していただき、土壌の乾燥状況を見ながら大豆の栽培管理を継続しましょう。

1. 気象と生育状況について



【冠水・浸水時の対応】

- ①停滞水を速やかに排出するため、溝の手直しや連結を行い、圃場の排水に努める。
- ②病害が発生しやすくなるため、定期的に圃場を確認し、適切な殺菌剤を散布する。



2. 畝間かん水(乾燥害対策)について

大豆の子実肥大には水が必須

- 乾燥ストレスは莢数や粒数の減少につながり、青立ち株を発生させます。
- 無降雨期間が7日程度続き、溝面が白くなり始めた頃や、上位葉が裏返りだしたらかん水を行いましょう。
- 早朝や夕方にかん水し、圃場全体に水が行き渡ったら、暗渠栓を開け、速やかに排水し、根腐れなどが起きないように気を付けましょう。

畝間かん水の効果

英の発育(長さ)アップ

子実の発育(重さ)アップ

畝間かん水終了
9月中旬頃まで

8/31 坂井地区(春江)(6/4播種)

【気象庁の向こう1か月予報(8/29～)】
平均気温は平年より高温の日が多く、降水量と日照時間は平年並みと予測されています。



開花期

(7月下旬)

(9月中旬)

収穫

(10月中下旬～)

3. 病害虫防除、除草について

高温が続いており、カメムシやハスモンヨトウ等の多発が懸念されます。子実への影響を少なくするために、薬剤が莢に付着するように散布しましょう。また、汚損粒の原因となる大きな雑草や畦畔等の帰化アサガオ類は、種を付ける前に抜き取りや除草剤で枯らして翌年の発生量を抑えましょう。

生育ステージ (6月上中旬播種)	9月上旬	9月中旬	9月下旬
	子実肥大期		～ 黄葉期



嶺南地区

防除
除草

カメムシ(2回目)

ハスモンヨトウ、その他病害虫等

抜き取り等

除草剤

- ➡ 適期播種時の目安は9月10日頃
- ➡ 発生状況を見て、カメムシと併せる
- ➡ 種ができている雑草は圃場外へ！

○一部地区(坂井・嶺南等)では、「ハダニ」多発生の報告がありますので、ご注意ください。